

〈研究ノート〉

Skype を使った日本語学習

—インドネシア人留学生の インタビュー調査からの一報告—

鈴木 淳子

要旨

わが国の留学生数は増加している。インドネシア人留学生においては、前年度より 782 人 (14.8%) 増加で 2018 年 5 月 1 日現在 6,277 人となった。

筆者は、インドネシア人大学生 A さんに Skype を使った日本語学習を指導していた。A さんは、2017 年国際交流基金・東南アジア日本語教員養成大学移動講座へ応募し、インドネシア人参加者 15 名中の 1 人に選抜され 45 日間留学していた。帰国後、C オンライン日本語会話センターを活用し、筆者と 6 か月間週 1 回・1 時間程度延べ 24 回 Skype を介し日本語能力試験 N 2 の取得をめざし学習に励んできた。

A さんは、Skype 学習以外にも着々と日本語学習に力を入れており、日本の私立大学とインドネシアの国立大学との交換留学生として再び来日した。

筆者は、A さんの他の Skype 学習者と比べ日本語学習への熱心さや探究心の強さに心揺さぶられた。そこで、インタビュー調査を通し、Skype 学習の学びがどのように留学生活に役立つことができたかを考察するとともに A さんの気持ちを言語化したいと考えた。

インタビュー調査の結果、A さんが Skype 学習で日本人と話すことは成長や自信につながった。「日本の良い文化」や「漢字」を知っていることで、留学生活においても自己解決ができた場面もあり日常生活の強みに繋がった。

Skype を使った学習支援が世界中で日本語を学ぶ人たちの一助となることを願う。

キーワード：キーワード 留学生 Skype 日本語学習 漢字 文法

1. はじめに

わが国の留学生数は増加している。日本学生支援機構¹⁾によれば、平成30(2018)年5月1日現在の留学生数は、298,980人である。インドネシア人留学生は6,277人となり、前年度より782人(14.8%)増加である。

インドネシアの若者には、日本のアニメや漫画も人気があるようだ。

後期中等教育機関(高校)では、日本語は高校の第二外国語の一つであることから日本語を学んでいる学生数は多い。

筆者は、インドネシア大学生のAさんにSkypeを使い日本語学習を支援していた。

高崙(2016)の調査にあるように、日本語学習者が「日本人と日本語で会話する機会がない」「日本の文化について分からない」などと学習する上での問題を抱えている。日本語教師も授業を行う上で「実際の例をあげて説明することが難しい」「文字や発音を教えるににくい」「日本人と話す機会がないので覚えている知識をスピークアウト出来ない²⁾」といった問題も持っている。

永松(2015)は、Skype学習によりネイティブスピーカーと直接会話する機会を作ることは、学習意欲のモチベーションが上がる³⁾ことや「Skype英会話を講義の一部に導入することによって、個別指導によるオンライン教育のもたらすメリットの大きさを実感した⁴⁾」ことを報告している。

三田(2014)は、Skypeを使った英会話の授業の導入により「第二言語コミュニケーションへの自信⁵⁾が高まったと報告し、Skype学習の効果が認められてきつつある。

本研究は、Skypeを使った日本語学習がAさんの留学生活に与えた影響などをインタビュー調査から分析する。

2. 研究動機

筆者は、外国で日本語を学習している社会人や学生の学習支援を目的として活動しているCオンライン日本語会話センターに所属している。センターの活動内容は、日本からSkypeを介しカリキュラムを参考にしながら日本語で会話することや日本語能力（文法や漢字など）の学習サポートが中心である。今回、筆者はインドネシア人大学生のAさんに対し、Skypeを使い日本語学習を指導した。Skypeのメリットとして通話品質が高く無料で通話（会話）できることや高度なセキュリティが挙げられる。Aさんの住むインドネシア・バリ島は熱帯性気候で乾季と雨季があるため、スコールや強風のため通話速度や品質が乱れるというデメリットがあった。

Aさんは、インドネシア・バリ島のD大学日本語学科4年在学中（23才・女性）である。高校時代より熱心に日本語を学習し日本語教師を目指していた。

2017年日本語能力試験N3を取得した。同年国際交流基金・東南アジア日本語教員養成大学移動講座へ応募し、インドネシア人の日本語学習者15名中の1人に選抜され45日間留学していた。帰国後Cオンライン日本語会話センターを活用し、筆者と6か月間週1回・1時間程度延べ24回Skypeを介し日本語能力を中心に学習に励んできた。Skype学習以外にも着々と日本語学習に力を入れており、再び日本の私立大学とインドネシアの国立大学との交換留学生として来日することができた。

筆者は、Aさんが他のSkype学習者と比べ日本語学習への熱心さや探究心が強いところに心揺さぶられた。そこで、Skype学習や留学生活に対する気持ちを言語化したいと考えた。Aさんの気持ちを言語化することは、次に出会うSkype学習者に対しての一助にも繋がる。

本研究は、来日直後のAさんへのインタビュー調査を分析したものであ

る。

3. 日本における留学生の現状

2008年1月、文部科学省より留学生30万人計画⁶⁾が発表された。日本を世界により開かれた国とし、アジア、世界間のヒト、モノ、カネ、情報の流れを拡大する「グローバル戦略」を展開する一環として、2020年を目途に30万人の留学生受入れを目指すものである。

日本学生支援機構⁷⁾によれば、わが国の平成30年5月1日現在の留学生数は298,980人である。平成29年5月1日と比較し、31,938人(12.0%)増加しており達成目標とする30万人に近づきつつある。

出身国別においては、平成29年・30年度ともに中国がトップであり、次にベトナム、ネパールと続いている。平成30年度において中国・ベトナムからの留学生を合わせると、全留学生に占める割合は62.2%になる。大学院と学部は、中国からの留学生の割合が1位を占め、専修学校と日本語教育機関についてはベトナムからの留学生が1位を占めている。

街のコンビニやファストフードでアルバイトをする外国人を見かける。多くは留学生である。彼らの多くは、学費や現地斡旋者の手数料に多額の借金をして留学してくる。しかし、入管法第19条⁸⁾によって、アルバイトは週あたり28時間以内の労働と定められている。実際には、借金返済のために28時間以上の労働をしている留学生が多いといわれている。

B大学⁹⁾においては、2018年に「研究生」として受け入れた留学生3,200人のうち、688人が行方不明になっている。2016年からの3年間で留学生5,700人受入れ、累計では1,400人が所在不明になっている。多くはベトナムからの留学生であった。B大学における「研究生」は、学部の正規課程に留学するための準備として日本語や日本文化を学ぶ留学生を指す。大量の留学生受け入れは大学の収入確保目的だった研究生ビジネスで

あるとの指摘もある。希望をもち来日した留学生たちの中には、学費や家賃も払えず失踪や犯罪に手を染めてしまう者もいる。

来日外国人の犯罪検挙件数¹⁰⁾は、2017年に長期トップを走ってきた中国人を抜き、ベトナム人が5,140件となった。留学生受け入れの課題は尽きない。

B大学は、マスコミにも取り上げられ特殊な事案である。わが国の留学生の4分の3は私立大学で学んでおり、多くの大学は勉学をはじめ日常生活や就職活動などのサポート体制が整えられ卒業生を輩出させている¹¹⁾。他の課題¹²⁾として大学の国際化や諸外国との懸け橋人材の育成、わが国の少子高齢化の糧となる高度外国人材としての定着などの課題がある。

4. インドネシアの教育の現状

インドネシア¹³⁾は、人口約2.55億人の島国である。国民の85%以上がイスラム教を信仰している。首都はジャカルタで、全人口の約10分の1がジャカルタ首都圏に集中している。人口も世界第4位であり、今後も2070年まで増加するとの予測がある。生産年齢人口は、2055年まで増えると期待されている。

インドネシア総合研究所¹⁴⁾によると、インドネシアでは子供の人口は非常に多い。14歳以下の人口でも計7,000万人以上、19歳以下の人口で見ると計9,000万人以上となっており未成年の人口が年々増加している。

インドネシアの学校教育制度は、日本と同様であり、中学校までが義務教育となっている。日本とは異なるのは、インドネシアでは小学校から高等学校まで全ての段階で国家統一試験(Ujian National/UN:以下UN)があり、合格しないと卒業できない制度がある。UNをクリアできず、留年をしてしまう小中学生もいるという。2018年の義務教育機関(小学校～中学校)の就学率は、97.96%であった。小学校から高等学校までの就

学率は 91.60 %で、9 割を越える子供が中等教育を修了している。インドネシアでは地域格差があるため地方ではその割合は低くなっている。パプア州¹⁵⁾では高等学校までの就学率は 77.77 %とインドネシア全体の平均よりも 10 %以上も低い状況となっている。

大学進学率は、27.94 % (2016 年)であった。大学へ進学する人は年々増加しており、ジャカルタなどの都市部ではその傾向が強い。多くの大学生が両親からの仕送りで生活をしており、アルバイトはしていない。A さんも勉強に集中したいとアルバイトをしていなかった。アルバイトをしている大学生は、家庭教師や講師の仕事が多い。

日本の大学院へ関心は高く、2018 年度のインドネシア人留学生¹⁶⁾は、2,237 人であった。出身国順位も第 2 位となった。2007 年は 912 人であり 2.5 倍増加している。

5. インドネシアにおける日本語教育の現状

国際交流基金インドネシア (2017 年度)¹⁷⁾によると、1960 年代には、高等教育機関 (大学) を中心に日本語教育が展開された。1960 年代以降、後期中等教育 (高校) での日本語教育が盛んになった。

教育段階別の状況において初等教育 (小学校) では、選択科目や課外活動の中で平仮名、カタカナ、挨拶程度の日本語が独自に作成された教材を使い指導されている。前期中等教育 (中学校) でも、指導レベルは平仮名、カタカナ、挨拶程度でのところが多い。一部では漢字や文法をとりいれている中学校もある。教師は、高校の日本語教師が兼務して、選択科目もしくは課外活動のいずれかの形で日本語を指導しているところもある。

現在、中学校の日本語教師の資格は制度化されていない。高校の日本語教師になるためには、日本語教育学科もしくは日本関係の学科の学士号を取得した後に 1 年間の教員養成特別過程を受講することになっており、現

職教師は昇格・昇給のために教育能力試験を受講したりする必要があるが、完全実施には至っていない。

前後期中等教育（中学校・高校）の日本人教師の割合は 2.3% にすぎず、多くはインドネシア人教師である。

後期中等教育（高校）は、普通高校、宗教高校、専門高校がある。普通高校と宗教高校では、第二外国語の一つとして語学系コースの選択必修科目で『にほんご 1・2』（2007 年刊行）、その他のコースの選択科目と課外活動で『さくら 1～3』（2009 年刊行）を使用し日本語を学んでいるところが多い。専門高校では、観光サービス業務専攻において、選択必修科目として第二外国語を履修する。『インドネシアへようこそ 1、2』（2005 年刊行）が多く使用されている。この 3 冊は、教育文化省と国際交流基金によって共同開発されたものである。専門高校の他の専攻も、選択科目と課外活動で日本語を学んでいる。

この流れにとともに、2006 年のカリキュラム改定で普通高校と宗教高校では、高校の 3 年間継続して第二外国語もしくは技術・家庭科の一科目を選択履修が必須となった。そのため高校における日本語学習者が大幅増加した。しかし、2013 年に中等教育新カリキュラムが導入され、高校での日本語学習者数が 2012 年の日本語教育機関調査数の 872,411 人から 745,125 人（14.6%）へ減少した。原因として、第二外国語を必須科目から選択科目となったことや新たに韓国語が追加されたことが考えられている。現在、日本語・韓国語・中国語・フランス語・ドイツ語・アラビア語の 6 か国語がインドネシアの中等前期教育（高校）の第二外国語である。第二外国語をやめ、受験に有利な科目に切り替える高校もあるようだ。

人格形成教育重視の観点から、学習者が主体的に学び、学習者同士が協働的に学んだりする教育方法が推奨され日本語教育でも対応が急がれている。

高等教育（大学）においては、日本への文化的関心などから日本語の履

修者が増加した。2012年の調査結果から2015年では、22.2%の学習者の増加がみられている。大学の日本語・日本文学科、日本研究学科、日本語教育学科及び大学院の日本研究科において、専攻科目あるいは主要科目として日本語が指導されている。教材については、日本で出版・販売されているものである。初級では、『みんなの日本語』インドネシア版が多く使用されている。

より高い学位や研究業績が大学教員に求められるようになり、学士号を出す学部で教えるには、2009年度より修士号を取得しなければならないという規則が適用されるようになった。大学院においては、博士号取得が義務付けられ休職して日本に留学している教員もいる。現地に長く住んでいる日本人を雇用している大学もある。日本人教師の割合は8.0%であり、政府関係の派遣やボランティアが多い。

インドネシア日本語教育学会が主催する国際セミナーや日本の協定大学との交流など、研究発表も活発化している。

その他の教育機関では、民間日本語学校、技能実習生送り出し機関、政府機関や民間機関における日本語教育が実施されている。技能実習生送り出し機関では、日本語能力試験N4を目標にしたコース、民間日本語学校では、初級から中初級コースが開講されている。日本語能力試験N4を合格するためには、日本語について初級の理解は必要である。

民間日本語学校でも、教材については初中級まで『みんなの日本語』インドネシア版を使用している機関が多い。教師の資格は、定められていない。4年制大学で日本語を学習した教師や現在日本語を学んでいる学生が教えている場合もある。

2012年に民間日本語学校の関係者や教師が「あおぞら」を設立しFacebookでの情報交換が行われている。

6. 倫理的配慮

A さんに対し、インタビュー結果については、学会発表や論文発表に使用することや不利益がないこと、いつでも同意を撤回出来ることを口頭で説明した。その内容について漢字を用いた文書と平仮名のみで作成した。筆者が文書を読み上げ、同意のサインをもらった後にインタビュー調査を行った。

7. 調査方法

2018 年 10 月、A さんに日本語で質問紙を用い半構造的なインタビュー調査を行った。質問内容は日本語についての興味・関心や Skype での学び等である。インタビューの言語は、A さんより練習のために日本語で行

表 1 質問紙の内容（原文のまま平仮名で作成）

①日本や日本語についてきょうみをもったのはいつごろですか？ きっかけはありますか？いつから日本語のべんきょうをしていますか？ どれくらいべんきょうしていますか？
②現在、日本の大学で好きなじゅぎょうやとくいなじゅぎょうがありますか？ にがてなじゅぎょうはありますか
③スカイプで日本語はじょうたつしましたか？じょうたつした部分やよくわかった部分 を具体的におしえてください。わからなかったことがあればおしえてください。
④スカイプでもっと工夫してほしいところがあればおしえてください。
⑤インドネシアに帰国してもスカイプをつづけていきたいですか。 「はい」「いいえ」そのりゆうをおしえてください。
⑥スカイプで日本語を学ぶことをゆうじんにもすすめたいですか？
⑦今回の留学や日本での生活にあたり、スカイプで学んだことをあなたのため になりましたか？「なった」「ならない」りゆうをおしえてください。
⑧まとめ 将来、日本ではたらくことなど、目標や夢がありますか？ 自由におはなししてください。

いたいとの提案もあり日本語でお願いした。分析方法は、Aさんの了承を得てICレコーダーに録音した。後日、逐語記録を作成し得られたデータをコード化し、カテゴリーを抽出した。分析は2名で行い、妥当性と信頼性の確保に努めた。

8. 結果

インタビュー調査の全体においては、102のコード、34のサブカテゴリー、12のカテゴリーが抽出された。

筆者は、半年間毎週月曜日19時より1時間程度・AさんのSkype学習をサポートしてきた。

- ① Aさんは、インドネシアの国立普通高校に入学し、高校時代に日本に興味を持った。高校一年生から日本語の勉強を始めたという。きっかけは、高校時代に日本語の先生は1人しかおらず、将来、母校の先生になりたいと勉強を続けてきた。平日は1日3時間以上勉強している。宿題があれば、もっと長い時間勉強している。特に漢字の勉強をしているという。

大カテゴリー	中カテゴリー	小カテゴリー
	高校時代から日本語の勉強	高校のとき日本に興味を持つ
		高校一年から勉強
		日本語の勉強をしている
		高校一年から勉強
	将来の夢	将来の夢
		将来の夢
	平日に三時間以上勉強している	平日は一日三時間勉強
		平日のみ勉強
		3時間以上は勉強
	漢字の勉強	日本語以外の勉強もしている
		特に漢字の勉強

図1

- ② 日本の大学での好きな授業は、日本語表現と日本語と国際関係である。日本語表現は、先生も優しく楽しい。日本語の説明や漢字のテストもあり必要性の高い授業。

日本語は、留学生のために開講された授業だった。日本語を深く学び、正しい使い方や漢字の勉強もした。担当のT先生からは、「せっかく日本に留学できたので日本語のシャワーを浴びなさい」と何度もアドバイスがあった。Aさんは、留学中に日本語を中心の生活を送ることは英語の能力が低下してしまうのではないかと気にかけていた。

国際関係の授業は、世界中の国の事を学び英語の練習もできた。英語でのコミュニケーション能力もグループで話し合いをすることで能力を高めることにつながり、とても好きな授業。

	好きな授業	日本語の科目と国際関係
	日本語表現の授業の必要性	日本語表現の授業内容(特に漢字テスト)
		授業の必要性
	留学生のための特別な授業	特別な授業
		留学生のための授業
	日本語を学ぶ授業	日本語（深く）を学ぶ授業
		様々な日本語を学ぶ授業
	国際関係	国際関係の授業
		世界中の国のことを学ぶ授業
		英語の能力が高まる
	二回出席したが難しいからやめた	辞めた
		日本文化の授業
		期待外れ
		英語の先生
		日本語が上手過ぎる
日本人にも難しい		
外国人には難しい		
辞めた		
二回出席した		

図 2

苦手な授業は、日本の文化の授業で担当は英語の先生だった。日本語も上手く面白そうに思えたが、期待が外れてしまった。日本の歴史上の人物名や文化を学ぶための言葉が外国人にも日本人にも難しいと感じた。授業の内容も知らないことばかりで、二回は出席し辞めてしまった。

- ③ Aさんにとって Skype 学習を介し、日本人（筆者）と話すことや学習支援のサポートがあることは成長や自信につながり役に立った。1回の Skype 学習は、60分～70分程度だった。最初の10分程度は、Aさんの大学生活や日本のニュース等の話をした後、受験予定である日本語能力試験2級をめざして過去問を中心に行っていた。

学習方法は、こちらが提示した問題をAさんがノートに写し、解答した後、文法の正しい使い方の説明や漢字の書き取りをする形をとった。

日本語能力試験N2取得のために、同音異義語の理解や会話を通じてよく使う言葉や漢字も勉強した。レポートを書くときや新聞・ニュースの理解には正しい文法を知る必要があるが、Skypeのみでは文法の理解

サポートがあれば、もっと成長できる	成長へのきっかけ	日本人と話すことで自信につながる 役に立った	
学習内容の工夫	先生へのサポート	先生のおかげ	
		先生のおかげ	
	会話は容易、文法は困難	文法に関する こと	文法がわかりにくい
			会話に文法は関係がない
文法は正しく使う 文法の決まりは難しい 新聞やニュースにも硬い文法がある			
会話を使った日本語学習の取り組み	会話はハードルが低い	話すだけなら簡単 会話はチャンスがある	
	よく使う日本語	よく使う言葉の理解 よく使う漢字の勉強	
		ややこしい日本語	
		日本語能力検定2級	
		ポイント説明	

図 3

は困難である。

- ④ 積極的な意見交換を行いたい。具体的には、テーマを決めて一緒に話しながら自分の意見や考え方など自由に会話がしたい。Aさんと筆者の考えを合わせることでより日本語上達にも繋がると述べた。

積極的な意見交換	自分の意見
	自分の考え方
	意見の主張
	会話のキャッチボール
	自由な会話
	日本語が上達するには

図 4

- ⑤ 帰国後も Skype 学習を活用し、豊富な話題交換や様々な社会問題など興味のある話題を日本語で話して日本語の能力の維持・上達につなげていきたい。

日本の大学で学び、新しい言葉を知ることや日本語能力の上達もできた。しかし帰国すると日本人と直接会話する機会は、日本人の大学教員のみになってしまい独学の時間も多くなる。

Aさん自身も日本語を話さない場合は忘れやすい、忘れやすくなって

興味のある話題を日本語でうまく話したい	興味のある話題を続けたい	豊富な話題交換
		様々な社会問題
		社会問題の話をしたい
日本語力を維持・上達したい	日本語の上達	日本語能力の上達
		新しい言葉を知る
		日本語能力試験にも合格したい
独学では能力が維持できない	能力の維持	日本語能力の維持
		日本語を話さないと忘れてしまう
	独学の限界	日本語を使わないと忘れる
		今までの能力の集大成
		日本語能力を高めていくには困難さがある

図 5

しまうと繰り返していた。日本語学習も大学の授業以外は独学となるため、日本語能力の維持が困難となることを懸念している。

- ⑥ Skype 学習を友人にも勧めたい。日本語を学ぶには日本人と話すことが大切であり、英語を話すならアメリカ人とネイティブスピーカーとの会話が重要になると考えていた。

	母国語の人と話すことが練習になる	日本語を学ぶには日本人と話すことが大切
		英語を話すならアメリカ人

図 6

- ⑦ Skype 学習で、日本の文化やマナーについても勉強したことを役立てることができた。食事前の日本の文化や日本に到着した際に、迎えてくれた目上の人に対しての挨拶や敬語を意識した日常会話ができる。留学生活において Skype 学習で学んだ漢字が大学や街中で多く眼に留まり、文法も生活にとっても役立った。初めて電車に乗る際に間違えてしまったが、知っている漢字を参考にして日本語で駅員に質問した。自己解決につながり日本での生活において強みとなった。

漢字を知っているとマナーや文化、日常会話で役立つ	マナーや文化の面	日本のマナーや文化について勉強したことが役立った
	漢字	漢字や文法もとても役立っている
	日常会話	特に日常会話で役立つ
漢字を知っていると日常生活での自己解決に役立つ	漢字	漢字が日常生活の中で役立つ
	日常生活での自己解決	失敗
		失敗
		日本語で質問した

図 7

- ⑧ 日本に留学がすることができたので、日本語の会話をもっと勉強してインドネシアで日本語の翻訳や通訳にもなりたい。日本で働くことにも

Skype を使った日本語学習

興味はあるが、情報が少ない。

私（Aさん）は、外国人なので大学で日本人にとって珍しい。大学で友達を作り、情報交換や日本語を話して楽しい。多くの日本語を話して楽しい。勉強になり、もっと日本語も好きになりもっと日本のことが好きになった。理由として、1番は時間を守る。かたづけや整理整頓もキ

留学経験を通しての気持ちや将来の目標	日本語教師・通訳	日本語教師になりたい	
		通訳になりたい	
		日本語がうまくなりたい	
	日本での仕事	インドネシアで働く	
		日本の仕事に興味がある	
	日本人の友達を作りたい	外国人にとっていい仕事かわからない	
日本人から見た外国人			
日本の良い文化や日本人の価値観	日本の良いところ	日本人が好き	
		日本人のマナー	
		交通ルールを守る	
		インドネシア人のルール	
		交通ルールを守る	
		ルールを守る日本人	
		日本人は親切	
		親切な人もいれば嫌な人もいる	
		インドネシア人と日本人の価値観の違い	
		日本人の印象	
		日本人の印象	
		もっと日本のことを知りたい	留学中の楽しみ
	東京に行きたい		
日本語能力の向上	日本語をしゃべりたい		
	正しい日本語を勉強したい		
	漢字を覚えたい		
日本食	日本の食べ物		
	好きな日本の食べ物		

図 8

レイで交通ルールも守る。インドネシア人は、運転する時にルールや規則を守らない人が多いが日本人は守る人が多い。インドネシアの人はルールを守らない。本当に信号を守らなくて赤信号も止まらない。日本人はルールを守っている。先生以外の日本人も親切だと思う。親切な人は親切であるが、それは世界中同じ。インドネシア人なら外国人と会ってとても嬉しい気持ちある。私（Aさん）の通っている大学なら日本人が入ってきたら、学生の方から挨拶をして仲良くなるのは早い。でも、日本人はそうではない。はっきりわからないけど、日本人を見ると感じる。日本人を見る時に感じる。（日本人）はオープンではない。

雪を見たい。東京行きたい。日本の文化について11月にT先生と予定がある。もっと日本語を喋りたい。正しく日本語を勉強したい。いろんな漢字も覚えたい。有名な食べ物は刺身と寿司食べた。味はそんなに口に合わない。美味しかったのは唐揚げとおにぎりだと笑っていた。

9. 考察

高崙（2016）の報告における多くのインドネシア人日本語学習者が持つ「日本人との会話の機会がないこと」や「日本の文化が分からない」¹⁸⁾ ことについては、日本人の学習支援者と Skype 環境を整えることができれば解決に繋がる。ジャカルタやスラバヤなどの大都市には、インターネット環境が整っており、カフェなどでは無料で使用出来る。しかし、都市部と農村部での格差があり、インターネット普及率はわずかに 16% という地域もある¹⁹⁾ため Skype 環境を整えるのでは容易ではないこともある。

筆者は、半年間 Skype 学習をサポートしてきたが、支援者の継続性も必要である。

Aさんは、自分の意見や考え方・意見の主張や自由な会話や会話のキャッチボールができるとより日本語が上達すると考えていた。新聞記事の意見

交換や内容の感想などをレポート作成することは、文法の困難さをサポートもできる方法の一つかもしれない。

「インドネシア語」は純粋な『アルファベット』26文字が基本である。例として「ありがとう」⇒Terimakasih（トゥリマカシ）となり、多くの単語は日本ではローマ字読みとなる。「日本語」は『平仮名』『カタカナ』46文字『常用漢字』2,136字であり、音読みや訓読みも覚えなければならない。方言や日本語教育では学ばない日常会話に必須な表現もある。

Aさんのような非漢字圏の学習者にとって漢字は難しく、漢字学習を避け続けた結果、日本での進学や就職の際に困難を感じている学習者が後を絶たない（伊藤 2018）²⁰⁾。

Skype学習で漢字や日本のマナーを学んだことが来日後の生活で日常会話や日常生活で役立ち強みにつながった場面が多くあった。学習をサポートすることは成長や自信にもつながり役立った。

園田ら（2006）が行った外国人留学生に関心のある日本語調査として、留学生と日本人学生の交流活動の報告がある。「外国人留学生は方言と若者言葉に深い興味がある」²¹⁾ことが示唆されている。Skype学習時や留学中、筆者との何気ない雑談時に、筆者が自然と口にする名古屋弁に興味をもち笑いながら真似をし、ノートに書き留めていた。

安・吉野（2011）が行った外国人留学生のアンケート調査においては、「留学生は、日常生活でよく使われる日本語に興味をもち、学習したいと考えている」²²⁾と述べている。Aさん自身も、インタビュー調査において、Skype学習の中で社会問題や政治、経済などについてなどの興味があることを日本語で話したいと語っており、学習内容の工夫が課題となった。

吉野・安（2012）「日常生活で使われている日本語は地方性、流行性、時代性と特徴がある」²³⁾と述べられているように、何気なく名古屋弁を使った会話もAさんにとっては、興味深かったと思われる。このことは、日本語教師も授業を行う上で「実際の例をあげて説明することが難しい」、「文

字や発音を教えるに「難しい」²⁴⁾ といった課題の解決にも繋がるのではないかと考える。

日本語教育機関調査 (2012)²⁵⁾ によると、インドネシアの高等教育機関 (大学) における日本語教育上の問題点として「学習者の不熱心」が、33.1%であった。日本の大学生と同じように勉学に対して熱心な学生ばかりではない。Aさんは、日本語学習や他の教科に対しても熱心に勉強に励んでいた。信仰深い感謝の気持ちが基となり思いやりのある優しい人柄であった。Aさんと Skype 学習や留学中に過ごした時間は、極めてユニークで貴重なものとなった。

インドネシア国内においての高等教育機関 (大学) へ進学率は、2016年度においては 27.94%²⁶⁾であった。2018年、Aさんのように日本に留学した大学生は 1,519人となり、大学での日本語学習者数 26,981人²⁷⁾の1割にも満たない。

Skypeを使った学習支援が世界中で日本語を学ぶ人たちの一助となることを願う。

10. 今後の課題

インドネシアは、国際交流基金 (2017年度)²⁸⁾ の調査結果から世界第2位の日本語学習者数を抱えており機関数および教師数ともに微増しつつある。しかし、インドネシア人日本語教師の困難として、「日本の参考文献・教材が少ない」「学習者のレベル差がある」「実際の例をあげて説明することが難しい」「新しい言葉・アクセント・文法・方言などの説明が難しい」²⁹⁾ などとアンケート調査に記述がみられている。そのため教材開発や現地の教師育成にも対応できる日本人日本語教師の確保が必要である。また、インドネシア人日本語教師においても、日本語教育の中核となれるような人材の養成が課題である。Skype 学習においても、Aさんのような日

本語教師をめざす人材のための学習プログラムの確立も必要である。

11. おわりに

本研究は、筆者がインドネシアの大学日本語学科に在籍しているAさんに日本へ留学前6か月間 Skypeを介し日本語学習を支援した。来日直後のAさんに Skype 学習についてを中心にインタビュー調査を行った一報告である。

Aさんは、帰国後大学を卒業した。現在は、就職しておらず日本で働く可能性も視野にいれながらインドネシアの日本語塾に通い日本語を学び続けている。LINE 電話で塾の宿題の質問や近況報告をしてくれる。

日本とインドネシアは、EPA（経済連携協定）³⁰⁾においても、平成20年度からインドネシア人看護師・介護福祉士候補者を受け入れ、のべ2,000人以上が来日している。

わが国の生産年齢人口の減少からみても、外国人の労働力が必要である。全世界137の国や地域で日本語教育の実施が確認³¹⁾されている。

Aさんのように、日本を訪れる人や日本語を学ぶ人が日本を好きになってくれることを祈りたい。私たちも外国人に対し、親切でありたい。



写真1

* 観音様に参拝するBさんと筆者

Bさんは信仰心が強い。留学中も1日3回のお祈りを欠かさなかった。

注

- 1) 平成 30 年度外国人留学生在籍状況調査
https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/index.html
2019 年 6 月 15 日閲覧
- 2) 高嶋幸子・都恩珍 (2016) 「海外の日本語学習者に日本文化をどう教えるかーアクティブラーニングを取り入れた授業の試み」
『桜花学園大学学芸学部研究紀要 8 号』: 115-127 頁
- 3) 永松美保 (2015) 「スカイプを用いた英語個別指導の学習効果と学生の反応」
『九州共立大学研究紀要』第 6 巻第 1 号: 87-93 頁
- 4) 3) 再掲
- 5) 三田薫 (2014) 「スカイプ英会話を活用した短期大学英語授業の試み: フィリピン人講師との 1 対 1 のオンライン英会話レッスンを授業に取り込むことによる効果」『実践女子短期大学紀要』第 35 巻: 19-43 頁
- 6) 文部科学省: 「留学生 30 万人計画」骨子の策定について
www.mext.go.jp/b_menu/houdou/20/07/08080109.htm 2019 年 6 月 15 日閲覧
- 7) 1) 再掲
- 8) 資格外活動の許可 (入管法第 19 条)
www.immi-moj.go.jp/tetuduki/zairyuu/shikakugai.html
2019 年 6 月 15 日閲覧
- 9) 渦中の〇〇福祉大、元教授が緊急記者会見
<https://hbol.jp/189873> 2019 年 6 月 16 日閲覧
- 10) 毎日新聞 17 年摘発来日ベトナム人の犯罪急増・中国上回る
<https://mainichi.jp/articles/20180412/k00/00e/040/211000c>
2019 年 6 月 16 日閲覧
- 11) 私立大学における特色ある国際交流事業の取組事例とその課題
<https://www.shidaikyo.or.jp/riihe/research/615.html>
2019 年 6 月 20 日閲覧
- 12) ポスト留学生 30 万人計画を見据えた留学生政策 (現状・課題)
www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/042/siryu/_icsFiles/afieldfile/20
2019 年 6 月 20 日閲覧
- 13) インドネシア基礎データ・外務省
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/indonesia/data.html>
2019 年 6 月 20 日閲覧
- 14) (コラム) インドネシアの教育事業ーインドネシア総合研究所

Skype を使った日本語学習

- <https://www.indonesiasoken.com/news/column-kyoikujijyo/>
2019年6月20日閲覧
- 15) 以前はイリアンジャヤ州 (Irian Jaya Barat) といい、島のインドネシア領部分全体が含まれたが2002年にパプア州と改称。2003年に西イリアンジャヤ州 (現、西パプア州) が分離した。<https://ja.wikipedia.org/wiki/パプア州>
2019年6月20日閲覧
- 16) 1) 再掲
- 17) 国際交流基金インドネシア (2017年度)
<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2017/indonesia.html>
2019年6月20日閲覧
- 18) 2) 再掲
- 19) 農村部のネット普及と貧困撲滅を同じ解決するインドネシアの「Ruma」
<https://japan.cnet.com/article/35075026/>
2019年6月20日閲覧
- 20) 伊藤茉莉菜 (2018) 「学習者間の対話を促す漢字学習活動—初級日本語学習者を対象として—」『早稲田日本語教育学』第24号: 239—243頁
- 21) 園田博文・奥村圭子ほか (2006)
「留学生と日本人学生の交流活動実践から見えてくるもの: 「気づき」を通じた異文化間コミュニケーション能力の養成にむけて」『山形大學紀要』14巻1号: 11—33頁
- 22) 安曉旭・吉野孝 (2011) 「留学生のためのメディア統合型モバイル日本語学習支援システムの構築」『情報処理学会第73回全国大会』第4分冊: 417—418頁
- 23) 吉野孝・安曉旭 (2012) 「留学生のための生活日本語共有システム」『情報処理学会研究報告』6号: 1—8頁
- 24) 2) 再掲
- 25) 2012年度 日本語教育機関調査-国際交流基金
<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/result/survey12.html>
2019年6月20日閲覧
- 26) 17) 再掲
- 27) 1) 再掲
- 28) 17) 再掲
- 29) 2) 再掲
- 30) 厚生労働省: インドネシア人看護師介護福祉士候補者の受け入れについて

鈴木 淳子

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000025091.html>

2019年6月20日閲覧

31) 25) 再掲

※ 『『同朋福祉』に関する内規』により「研究ノート」として査読済み

(本学特任講師：障害の理解)